

動画マーケティングの基礎

本日はセミナーにご参加いただき
ありがとうございます

- 12:45にセミナーを開始いたします
- マイクをオフにさせて頂いております。周囲で音がしてもセミナーには影響ありませんので、ご安心下さい
- ぜひ、メモをご用意ください



あきばれホームページ

動画マーケティングの基礎

株式会社WEBマーケティング総合研究所

2022/6/23

本日の目次

1. セミナーのゴール
2. ホームページに動画を埋め込むことで得られる2つのメリット
3. 動画を活用するとCVRが上がる理由
4. 動画SEO
5. おすすめの動画SEO
6. まとめ



1. セミナーのゴール



本日のセミナーのゴール

ホームページで動画を活用するための
マーケティングの基礎がわかる

2. ホームページに動画を埋め込むことで 得られる2つのメリット

動画を埋め込むことで得られる2つのメリット

1) CVRが上がる

画像と動画両方を載せて運用することで、動画で反応するユーザー、画像で反応するユーザー、それぞれにアプローチができ、結果的にアクセスがお問い合わせに繋がりやすくなる

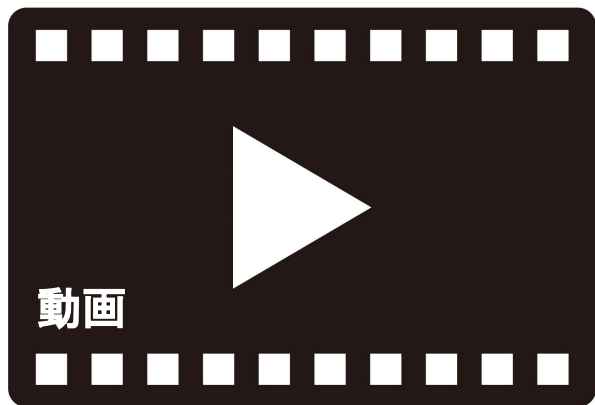
2) SEO対策の効果がある

→なぜホームページに動画を埋め込むことがSEO対策になるのか？

2.動画を活用するとCVRが上がる理由

動画 vs 静止画

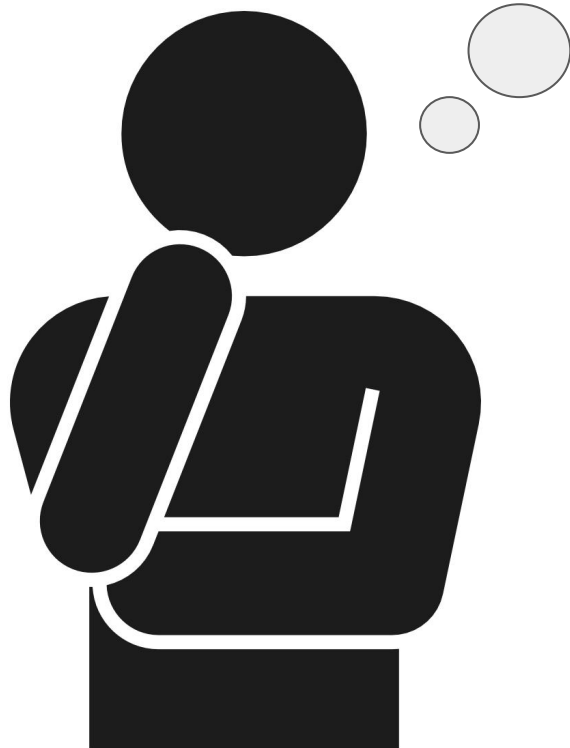
単純に動画と静止画でユーザーの反応を比べた場合にどちらが良いと思いますか？



VS



動画 vs 静止画



動画の方が、伝えられる情報量が多いから静止画よりも反応が取れるんじゃないか？

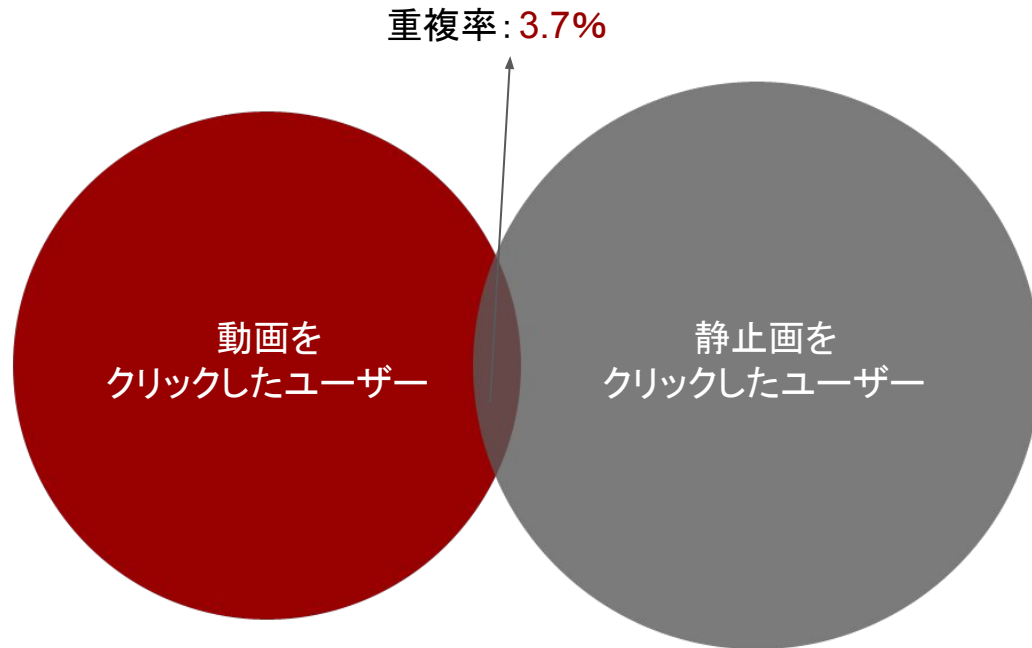
動画だと再生するのが面倒で、あまり見られないかも。静止画ならひと目で情報が入りやすい…？

最近なんとなく動画の広告を目にする機会が増えたから、動画のほうが反応良いのかな…？

実は・・・

動画と静止画の反応を比べる事自体が
間違っているのです。

なぜ動画と静止画の反応を比較しないのか



出店: Yahoo! JAPAN調べ
特定アカウントにおける同一期間に動画/静止画双方にインプレッションしたユーザーのクリック重複率

広告運用において、動画と静止画では、反応するユーザーが異なる



そのため、どちらかが良いのではなく、どちらも出すことで双方のユーザーを獲得できる



ホームページにユーザーがアクセスした後も、動画と静止画両方載せておくことで、双方のユーザーに効果的にアプローチができる

4.動画SEO

動画をホームページに埋め込むことで

1. Googleの「動画検索タブ」に表示される可能性が生まれる
2. ページの滞在時間や精読率が上がる
3. ページの質が上がる(オリジナルコンテンツが増える)
4. ユーザーによっては、動画は文章や画像よりも、興味を引きやすく、その結果として外部リンクが増える可能性がある

これらにより、SEOの効果が見込めます。

1.Googleの「動画検索タブ」に表示される可能性が生まれる

例えば「庭のお手入れ方法」で検索をしてみます。

この場合通常の検索結果にも「動画」が出てきております。

こちらは動画の検索タブで表示される動画の内、上位表示されている動画が表示されます。

ユーザーの検索意図に「動画を見たい」が含まれるようなキーワードの場合このような検索結果になることがあります。



1.Googleの「動画検索タブ」に表示される可能性が生まれる

相続相談で**検索**をしてみます。

今回は通常の検索結果に動画が出てきません。

ですが、動画のタブをクリックすると動画検索の結果が出てきます。

動画を作成しホームページに埋め込む、またはYou Tubeなどにアップすることで、動画検索タブに表示される可能性が生まれます。



2.ページの滞在時間や精読率が上がる

ページに動画があることで、再生された場合、その分ページの滞在時間が伸びます。

また、ページ内の文章が多いなどボリュームが多い場合、冒頭でそのページの内容を簡単に動画化したものがあることで、イメージをつかみやすく、その下の文章をより読んでもらいやすくなります。

滞在時間や精読率が上がる



ユーザーにとって有益な情報である



SEOの効果が見込める

3.ページの質が上がる

ページに動画を埋め込むことで、競合他社と差別化の要因となります。

そのため、動画そのものがオリジナルのコンテンツとなり、SEOの評価につながります。※

※
コンテンツを作成した場合、
どうしても競合他社と内容がかぶる
部分が出てきてしまいます。よって、
オリジナルのコンテンツがあることで、
より専門性が高いとGoogleに認識される
可能性があります。



4.外部リンクが増える可能性がある

ユーザーによっては、動画は文章や画像よりも、興味を引きやすく、その結果として外部リンクが増える可能性があります。

例えば、

- 動画単体がシェアされる
- 動画解説がわかりやすく、他人に紹介されるといったことが考えられます。



5.おすすめの動画SEO対策

おすすめの動画SEO対策2選

1) 長尺動画(お役立ち情報系ページ向け)

コンテンツをまるまる動画で解説したものをページの上部に掲載する。

2) 短尺動画(各コンテンツ向け)

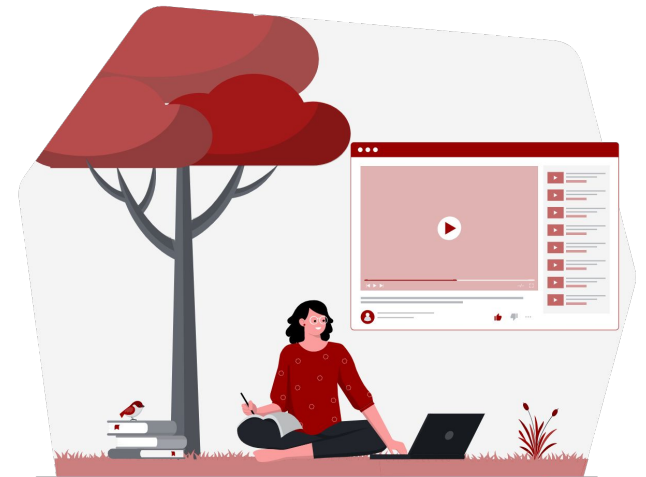
そのページの内容を簡単にまとめた動画を掲載する

短尺動画に関しては、「[マーケティング動画作成代行サービス](#)」にて制作が可能です。

6. まとめ

まとめ

- 動画と静止画では反応するユーザーが異なります。
- そのため両方掲載することでホームページの反応があがります。
- それにより、SEOの効果が見込めるので、是非ホームページに動画を埋め込んでみてください。



ご清聴いただきありがとうございました

次回ウェブセミナーのご案内

開催日時 : 6月30日(木) 12:45~13:30

対象 : 会員さま

参加費 : 無料

次回タイトル : 成果を出すために最低限必要なページとは(再)